
紀陽銀行のデジタル戦略について

2021年6月
紀陽銀行 経営企画部

1. 社会環境

業務デジタル化

IT人材不足

老朽化システム刷新
(マイグレーション)

情報資産利活用
(データレイク)

◆「2025年の崖」業務のデジタル化が社会課題となっている

デジタルトランスフォーメーション (DX) 推進

多くの経営者が、将来の成長・競争力強化のために、革新的なデジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出や業務・構造改革への取り組みの必要性を感じ、課題解決に向けた取り組みが始まっています。



Mobile



Social
Business



IoT/カメラ



BigData



Cloud



AI



RPA
ロボティクス

◆弊行のサービス、行内体制だけではなく、地域社会のDX推進をサポート

紀陽銀行のデジタル戦略

金融サービスの
デジタル化

行内業務のデジタル化

地域社会のデジタル化

2. 第6次中期経営計画＜抜粋＞（紀陽グループが目指す姿）

＜紀陽フィナンシャルグループが目指す姿＞

『銀行をこえる銀行』

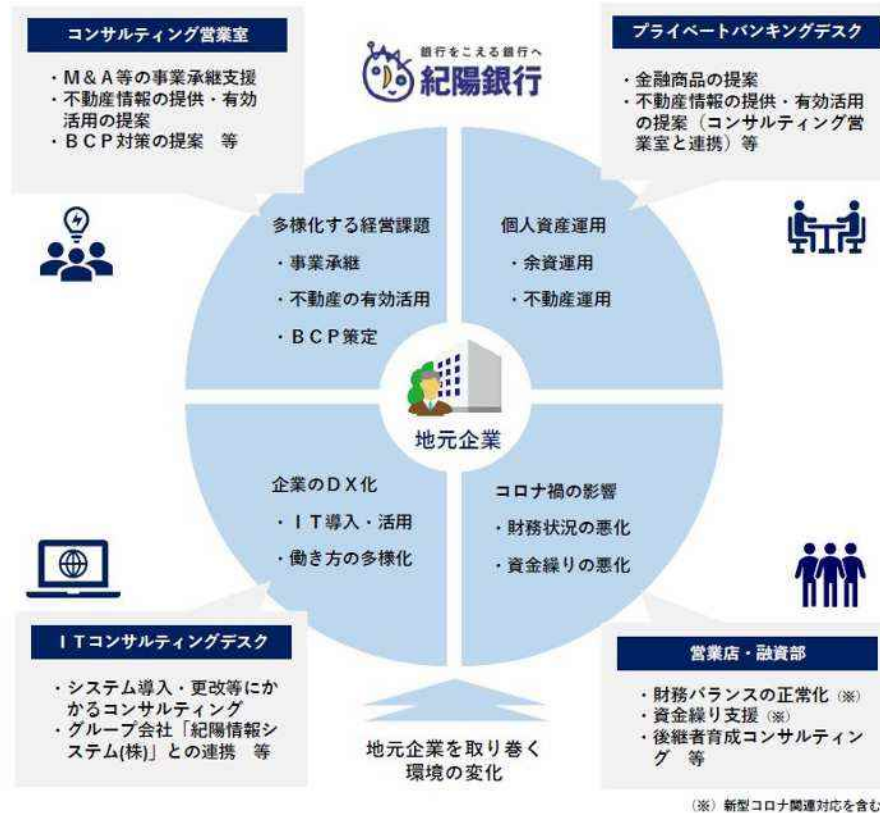
- ① お客さまの期待をこえる：どんな課題にも本気で向き合い、「そこまでやるか」と言ってもらえる銀行
- ② 地域の壁をこえる：お客さま同士を結びつけ、銀行に集約された知見を地域のお客さまに還元できる銀行
- ③ 銀行という枠をこえる：地域を支えられる真の地域金融機関となるため、新たな業務領域の事業化にチャレンジする銀行



2. 第6次中期経営計画＜抜粋＞（ビジネスモデルの更なる深化）

中小企業向け貸出を起点としたビジネスモデルの更なる深化

▶ 地元企業へのサポート体制



▶ コンサルティング機能の強化

財務・資金繰りサポート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コロナ禍における取引先の財務バランスの正常化、資金繰り支援 ▶ 新型コロナ対策担当（融資部）の設置 等
事業承継サポート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 様々な情報収集チャンネルとの連携強化 ▶ M & A拠点増設による和歌山県内体制強化 等
後継者育成コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 経営者の抱える経営課題「後継者の育成」に対する支店長等によるコンサルティング活動の展開
BCPコンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地元企業の事業継続に向けたコンサルティング強化 ▶ BCPセンター（仮称）の設立 等
ITコンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大企業向けITコンサルティング体制拡充 ▶ 中小企業向けデジタル化推進支援拡充 等
不動産マッチング	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地元不動産業者等との接点強化 ▶ 取引先の不動産アセット最適化提案を通じた不動産ニーズの発掘強化 等

▶ 事業性関連役務収益計画 ※2021年3月期実績からの目標



2. 第6次中期経営計画＜抜粋＞（持続可能な地域金融インフラの構築）

競争力を拡大する新たな営業体制の構築（持続可能な地域金融インフラの構築）

➤ 店舗機能・体制の見直しによる店舗チャンネルの適正化

対面チャンネルの適正化と非対面チャンネルの構築により、顧客利便性の維持・向上を図ると同時に、適正コストでのチャンネル運営の実現を目指す。

